

VI Academic Exchange with Foreign  
Institutions(Annual Report (2nd semester,  
2017・1st semester, 2018))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 紀子, ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026320">https://doi.org/10.14945/00026320</a>

## VI 海外大学・機関との交流

松田 紀子／ライアン 優子

### 1. 大学間・部局間交流協定

当該期間に、次の1件の大学間協定、6件の部局間協定が新たに締結された。

(協定校名(国名) 署名月)

〈大学間交流協定〉

キングモンクット工科大学ラカバン校(タイ) H30(2018).5

〈部局間交流協定〉

□工学部・総合科学技術研究科工学専攻

国立台湾科技大学 工学部／電気工学・コンピューターサイエンス学部(台湾)  
H30(2018).1

浙江工業大学材料科学工学院(中国) H30(2018).8

ウダヤナ大学工学部 H30(2018).8

□理学部・総合科学技術研究科理学専攻

ウィーン工科大学 数学・地球情報学部(オーストリア) H30(2018).5

東国大学校工学部(韓国) H30(2018).9

□電子工学研究所

ウッジ工科大学(ポーランド) H30(2018).8

### 2. 海外同窓会活動・海外における静岡県内自治体、企業との連携

国際連携推進機構は、各国の卒業生のネットワーク強化と、海外の活動における静岡県の自治体、企業との連携推進に努めている。

例年のJASSO日本留学フェア出展の時期に併せて、タイ、ベトナム、インドネシアの元留学生の同窓会関係者らと、また静岡県ほか自治体関係者らが出展する場合にはともに、懇談の機会を設けるなどしている。当該期には、9月末のインドネシアフェアにおいて、静岡県関係者(静岡県、静岡県立大学、公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム)と連携して、フェア出展のほか、大学訪問、西ジャワ州関係者懇談などの機会を持った。

平成30(2018)年2月にタイ・バンコク市内において、静岡大学海外同窓会のタイ支部の会を開催した。同会には、バンコク周辺および地方からも元留学生がかけつけ、約11名の元留学生および本学短期研修滞在の協定校学生3名、静岡県内企業のタイ拠点駐在員の方々、静岡大学の教員、海外職員研修の本学職員も加わり、総勢23名の集まりとなった。

日 時：平成30(2018)年3月17日(出)

14:30～16:00 同窓会運営会議

16:30～18:00 ネットワーキング懇親会

場 所：Chan & Yupa Tearoom(バンコク・アソーク駅付近)

参加者：23名(登録24名)

①本学同窓生 留学生15名(短期研修学生含む)

②企業関係者 3社3名

③本学関係者 5名：鈴木副学長、国際連携推進機構教員1名、  
国際交流課職員2名、他部署所属職員1名

### 3. 海外拠点整備

#### 1) タイ海外事務所

平成21（2009）年11月タマサート大学東アジア研究所内に開設したタイ海外事務所を、平成30（2018）年2月に同じタマサート大学ランシットキャンパス内の理工学部へと移設をした。東アジア研究所には、これまでのご厚意と支援に対し本学学長名による感謝状を、鈴木副学長から Kitti Prasirtsuk 所長に贈呈した。

同事務所付きの非常勤スタッフ1名が週に一日の活動を行った。主な活動内容は、タイからの留学生の派遣支援活動で、アジアブリッジプログラムを中心とする静岡大学の広報、タイにおけるアジアブリッジプログラム学生の短期研修の運営補佐等である。

また、タマサート大学理工学部内事務所設備の管理も委託している。

加えて当該期には、本学の科学技術振興機構委託事業「グローバルサイエンスキャンパス」（「静岡大学未来の科学者養成スクール」）の海外研修先に、同様の事業を運営するタマサート大学理工学部が選ばれたため、同事務所付きの非常勤スタッフが、渡航前から研修期間（平成30年8月）を通じて、引率の本学教員（当機構の教員含む）および参加高校生らに現地に対応する形で当事業の推進を支援した。

#### 2) インドネシア海外事務所（平成22（2010）年2月開設、ガジャマダ大学 UGM 農学部内）

当事務所には、平成25（2013）年1月より非常勤スタッフ（現地相談員）を配置するとともに、Skype用スクリーンを設置し、インドネシアにおける活動を活発化させるためのインフラ整備が充実している。事務所スタッフの活動としては、本学教職員の現地訪問時や、毎年農学部がガジャマダ大学と協力し「海外フィールドワーク」科目として1週間の現地実習を行う際の現地のコーディネート、交換留学学生派遣・受入れに関する支援・調整、元留学生の情報収集およびデータベース整理を通じた同窓会活動支援等がある。ただし、平成30年度前期より、UGM農学部内での調整のため、非常勤スタッフの配置が中断している。

また、インドネシアでは、平成27年3月からインドネシア大学工学部の厚意で提供いただいているスペースに設置したSkype用スクリーンやパソコンを活用して、本学とインドネシア大学をつなぐSkype会議を重ねて開催するなど、交流活動をさらに活発化させている。

#### 3) ベトナム海外事務所（平成27（2015）年3月開設、ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学内）

ハノイ外国語大学内にSkype用スクリーンやパソコンを本学から提供して設置し、本学教職員の現地訪問時の活動拠点としている。

#### 4. インターアカデミア・アジア Inter-Academia Asia (IAA) 2017

2017年12月4日から6日までの3日間、アジアの協定校との国際会議インターアカデミア・アジア第4回会議を静岡市にて開催した。会には5か国8大学からの18名の招聘者（教員8名、学生10名）を含む、約70名の参加があった。

12月4日月曜日、初日のラウンドテーブルミーティングは、静岡大学の鈴木滋彦教授（副学長・国際連携推進機構長）によるIAAの活動経緯の説明に始まり、松田紀子教授（国際連携推進機構）の議事進行により、招聘8大学と静岡大学の修士課程における国際化の取組に関する事例発表と意見交換を行った。各大学の事例は、海外からの留学生の受入及び派遣体制の整備、語学教育の強化、国際共同研究体制の構築など、大学間で共通性のあるものが多く、将来的な国際連携の拡大を考える上で有意義な情報交換の機会となった。同日夜のネットワーキング会には、招聘教員と共同研究を行う静岡大学の教員も参加した。冒頭に石井潔静岡大学長による歓迎の挨拶があり、終始和やかな雰囲気の中、全参加者の自己紹介を行い、8つの大学から参加している招聘者間の交流も深まった。会の終わりに白井靖人教授（情報学部・国際連携推進機構副機構長）から学生に向けて、次の日の研究発表会の応援の言葉があった。

12月5日火曜日、2日目のYoung Researchers Conferenceでは、静岡大学の大学院から21名、招聘大学の大学院から10名が参加し、研究発表を行った。浜松キャンパスからも12名が参加し、静岡大学修士課程の全6専攻（理学・農学・情報学・工学・人文社会・教育）の分野で発表があった。招聘大学の教員が各分科会のチェアを務め、15分間の発表の後に、質疑応答を行った。各発表者は、日頃の研究活動の成果を英語で発表し、進行役また会場の教員との質疑応答を通して、研究の知見を広げる機会を得た。

12月6日水曜日、3日目は各キャンパスに会場を移し、研究科を訪問した。静岡キャンパスでは、タイ、インドネシア、ベトナムからの招聘者が理学・農学・教育学・人文社会学の各研究科長及び代理を訪問し、研究・教育活動について、意見交換をした。浜松キャンパスでは、インド、バングラデシュ、インドネシアからの招聘者が工学、情報学の各研究科を訪問した。静岡キャンパスでは、午後に市内ツアーを行い、晴天に映える富士山を仰ぎ見ながら、市内の歴史・文化遺産を楽しんだ。

4回目を迎えたインターアカデミア・アジアの会議には、これまでに10か国27大学が参加をした。本会議は、修士課程の国際化を焦点に、大学間の協力関係を深め、交流基盤を強化する機会となっている。

参加総数：約70名 うち、海外招聘者（教員 8名 学生 10名）

海外協定校 8大学

〈参加大学〉

ガジャマダ大学（インドネシア） インドネシア教育大学（インドネシア） ブラヴィジャヤ大学（インドネシア） カセサート大学（タイ）	タマサート大学（タイ） ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム） SRM大学（インド） ラジャヒー大学（バングラデシュ）
---	---

## 5. Inter-Academia インターアカデミア 2018

2018年9月24日から27日までの4日間、中東欧の協定校との国際会議第17回Inter-Academia 2018が、リトアニアのカウナス工科大学で開催された。会には13か国から86名が集まり、静岡大学からは木村雅和教授（理事）、原和彦教授（創造科学技術大学院長）、三村秀典教授（電子工学研究所長）をはじめ、29名の教職員と大学院生が参加をした。開会式では、カウナス工科大学のEugenijus Valatka学長、本学の木村理事からの挨拶があり、続けて三村教授とRenaldas Raišutis教授（カウナス工科大学）による招待講演が行われた。

4日間を通して36件の口頭発表、33件のポスターによる研究発表、21名の大学院生を中心とした若手発表者によるショートプレゼンテーションが行われた。ショートプレゼンテーション参加者対象のYoung Researchers Awardでは、静岡大学院生1名を含む3名が受賞した。会期中に、静岡大学とカウナス工科大学の関係者がエラスムスプラスと博士課程ダブルディグリープログラムを通じた学術・学生交流の促進について、ミーティングを行った。

閉会式では、来年（2019）の18回目の会議を主催するオブダ大学（ハンガリー）から、会議予定に関するプレゼンテーションがあり、今年度会議の議長Giedrius Laukaitis教授（カウナス工科大学）と実行委員への謝辞があった。

## 6. 日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」

本事業は、学生の超短期での海外派遣・受入れを推進することを目的として平成23年7月より開始された奨学金事業「留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）」（3か月未満）を一部取り込んで、平成25年度には「留学生交流支援事業（短期受入・短期派遣）」（短期研修・研究型：8日以上1年以内、交流協定留学型：3か月以上1年以内）、ついで平成26年度には「海外留学支援制度（短期受入・短期派遣）」（双方向協定型：1セメスター以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内）、さらに平成27年度には「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」（双方向協定型：1セメスター以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内）として実施されているものである。高等教育機関には、交流校との間で短期の学生の派遣・受入れの教育プログラム（単位付与を伴う）を構築することが期待され、このプログラムに参加する学生に一定の奨学金が支給される。

当該時期における本学の採択状況および延べ受給学生数は、以下のとおり。

平成29年度：2件（申請8件）、延べ39名

平成30年度：1件（申請8件）、未確定（進行中のため）

## 7. 修士課程ダブルディグリープログラム（複数学位制度、DDP）

平成29年（2017）2月に静岡大学総合科学技術研究科工学専攻と台湾国立中央大学工学部との部局間交流協定に基づく修士課程ダブルディグリープログラムの覚書が交わされ、翌年度より学生募集を行っている。平成30年度（2018）前期には、双方の大学において派遣生の推薦があったため、選考を行い、初の学生の交換に向けた準備を進めた。

## 8. 海外教育機関との往来訪

### 来 訪

10/20	アッサム大学VC・教員 学長表敬来訪、農学部MoU署名	インド
10/24	台湾科技大学 工学部訪問	台湾
11/6	ベトナム国立林業大学長・環境省 学長表敬訪問	ベトナム
11/7	インドネシア教育大学日本語学科ほか 教員、学長表敬・センター懇談	インドネシア
12/4-6	第4回 インターアカデミアアジア会議	インド、 インドネシア、 タイ、 バングラデシュ、 ベトナム
12/8	西南物理研究院・四川大学（JSTさくらサイエンスプラン、理学）	中国
1/16	韓国水原市大学生 農学部・人文社会科学部訪問（対日理解促進交流プログラムJENESYS2017）	韓国
1/18	ハサヌディン大学水産学部学生・教員 来訪	インドネシア
2/5-8、2/20-23	ABP学士プログラム対象国高校 校長・教員 招へい	タイ、 インドネシア、 インド
3/1	チュラロンコン大学生涯教育教員	タイ
3/5	インド国立薬科教育研究院 院長	インド
4/18	パジャジャラン大学 浜松キャンパス訪問	インドネシア
4/27	タイ法務訪日団（国家汚職防止委員会主催研修プログラム一行）	タイ
5/8	新モンゴル高校	モンゴル
5/16	ブタペスト工科経済大学 国際交流部長	ハンガリー
5/24	アルバータ大学 VSCP担当者 説明会開催	カナダ
4月下旬~5月	アレクサンドル・イワン・クザ大学 教員・職員（エラスムスプラス交流事業） 4件	ルーマニア
6/5	香港科技大学	香港
6/1-7/27	KMUTT 研究室インターンシップ 工学部	タイ
7/17	浙江大学 工学部訪問	中国
7/19	バンドン工科大学生命科学技術学部	インドネシア
7/22-29	SRM工科大学（JSTさくらサイエンスプラン、工学）	インド
7/23	JSTさくらサイエンス視察・説明会開催	日本

7/25-31 浙江大学 農学部研修	中国
7/26 ワルシャワ日本語学校	ポーランド
8/1 JICA中部・本部	日本
8/19-28 華中科技大学・等離子物理研究所 (JSTさくらサイエンスプラン、理学)	中国
8/23 華中科技大学 教員	中国
9/13 ブラウンシュバイク工科大学	ドイツ

## 往 訪

10/4-10 海外職員研修・ガジヤマダ大学訪問・JASSO留学フェア (ジョグジャカルタ・スラバヤ・ジャカルタ)	インドネシア
10/6-8 静岡県留学フェア (ウランバートル)	モンゴル
10/23-25 日本インドネシア学長会議 (スラバヤ)、日系企業訪問	インドネシア
10/27 インド国立薬科教育研究院NIPER ジョイントセミナー	インド
10/28-11/2 インド工科大学ハイデラバード IITH (ジョイントセミナー、JICA IITH-Japan Collaboration Academic Fair 2017)、ハイデラバード大学訪問	インド
1/22-25 慶北大学国際シンポジウム、嶺南大学訪問	韓国
2/4-8 タイムズ・ハイヤーズ・エデュケーション世界大学ランキングサミット2018	中国
2/14-18 静岡大学タイ事務所移転 (タマサート大学)・同窓会タイ支部の集い	タイ
2/25-3/11 インドネシア アジアブリッジプログラム 学士課程コース広報	インドネシア
4/26-27 日独学長会議	東京
5/12-15 日中大学フェア&フォーラム in CHINA (広州)	中国
5/13-18 日本留学説明会 (フエ)、ハノイ国家大学外語大学付属高校ほか高校・日本語学校	ベトナム
5月中下旬 アレクサンドル・イワン・クザ大学 教員・職員 (Erasmus + 交流事業) 2件	ルーマニア
5/29-31 マリアノ・マルコス州立大学	フィリピン
6/4-8 日本留学フェア (バンコク)、日本大使館	タイ
7/4-14 バリ州ほか高校・日本語学校	インドネシア
8/5-8 JSTグローバルサイエンスキャンパス 海外研修 (タマサート大学理工学部)	タイ
8/17-18 日本留学フェア (ヤンゴン)	ミャンマー

8/25-26 日本留学フェア（バンコク、チェンマイ）	タイ
9/6-10 ネブラスカ大学オマハ校 学長訪問	アメリカ
9/25-28 インターアカデミア2018（カウナス工科大学）、職員研修	リトアニア
9/28 コメニウス大学 職員研修	スロヴァキア
9/29-30 日本留学フェア（スラバヤ、ジャカルタ）	インドネシア